

# 令和5年度 西東京市立上向台小学校 第3回 学校運営協議会

令和5年9月22日

## 議事録

<b>第3回 上向台小学校運営協議会（要点記録）</b>
日時 : 令和5年9月22日（金）10:30~12:00 場所 : 上向台小学校 ランチルーム 出席 : 7名 学校関係者 : 4名 欠席 : 3名
委員10名中7名の出席により本会議は成立
<b>(1)会長挨拶 校長挨拶</b>
○挨拶要旨 <b>会長</b> インフルエンザ、コロナ、胃腸炎が流行る季節ですので、お気を付けください。  <b>校長</b> 本日は、御多用の中、お集りいただき、ありがとうございます。 私からは、学校だよりの7月号と9月号について、紹介いたします。 9月号では、慶應義塾高等学校の森林監督の主体性を伸ばす指導法「指導者の指示通りに動くだけでは、高校野球は人材育成の場として物足りない」といった言葉から、本校の学校経営方針の今年度の重点としている「一人一人の子供を主語にする学校」とつながるということ、それから、今後社会で求められる力が大きく異なってきており、経済産業省で公表されている「未来人材ビジョン」で2050年に向けて最も求めている力のこと。そして、それに向けて、従来の知識伝達型の教える授業から、子どもが学ぶ授業への転換について書いております。 右側の2つ目の段落、「上向台小学校では」の段落には、「各学級でいくつかの単元について、子ども自ら学び方を選択し、自立した学習者になることを目指した授業（「みんな一緒に、」「同じことを」、「同じ方法で」の学びからの脱却）に挑戦しているところ」であることを明記しています。もちろん今までのように教師が教える授業もありますが、子どもたちが学ぶ場面を多く取り入れたいと思っています。 また最後の方には、体育発表会や展覧会も、ただ単に元に戻したり、教師の指示したことをただ行うだけの活動ではなく、子どもたちが主体的に考えたり活動したりする場面を多く設けることをお示しました。 7月号の学校だよりの「リアルとデジタルの最適なバランスが生み出す学校教育の実現に向けて」、今日も参加している教務主幹が書いております。こちらもぜひお読みいただければと思います。 さて、本日ですが、福田晴一先生にお越しいただきました。大変お忙しい先生で、この後も千代田区でのお仕事があるということですが、時間を調整していただき、本校までお越しいただきました。 福田先生とお会いしたのは、福生市教育委員会時代に、プログラミング教育推進校の学校の講師としてお招きしたことがきっかけだったのですが、福田先生は多方面でご活躍されていらっしゃいます。CS関係ですと、私も視察にお伺いしたことのある戸田市のCSディレクター、それから佐野市CSアドバイザーを。他にも学校心理士、特別支援教室巡回アドバイザーなどもされていらっしゃいます。 後ほど、御本人からも自己紹介があるかと存じます。すばらしい先生にお越しいただき、光栄です。本日は、「コミュニティ・スクールを中心とした学校と地域の連携・協働」をテーマに、教育懇談会を行います。また、皆さんが「学校のことを知る」ために協議する場を多く設けてくださっています。それでは、福田先生、どうぞよろしく願いいたします。

**(2)教育懇談会(ワークショップ)**

ファシリテーター：戸田市CSディレクター/佐野市CSアドバイザー  
NPO法人「みんなのコード」学校教育支援部長  
杉並区立天沼小学校元校長 福田 晴一 様  
※詳細は別紙

**(3)事務連絡**

第4回 学校運営協議会 日時 令和5年11月24日(金) 10:30~12:00